

いろいろ参加しました！
いろいろ活動しました！
いろいろ学びました！

2018.11.6~7

「第8回自治体災害対策全国会議」(神戸市)に参加しました！

▼今年は「巨大災害に対処する」をテーマに開催されました。▼河田恵昭教授(関西大学)は基調講演で、南海トラフ地震には現在の国や自治体の体制ではとても対応できないとし、「防災省(庁)」の創設を提案しました。防災省では、被害を少なくする減災だけでなく、被災からの回復力を早める「縮災」の視点から日常的に事前対策を含めた業務を展開していく必要性を訴えられました。▼大地震や風水害などが起こるたびに新しい課題が浮かび上がってきます。こうした災害の経験や教訓をどうやって継承し、備えに活かしていくかが問われていると思います。



2018.11.11

「日本地方自治学会研究会」(金沢市)に参加しました！

▼嶋田暁文教授(九州大学)の報告「NPO等による移動サービスをめぐる現状と課題」では、地方公共交通の危機的状況と自治体の手詰まり感についてあらためて考えさせられました。▼森裕之教授(立命館大学)の報告「生活困窮者自立支援事業の財政的意味」では、生活困窮者自立支援事業には、自治体の創意工夫が発揮されなければ実効性を持ち得ない特有の性格が存在すること。そもそも、この事業に対する財政支出は正当性を持ち得るのか、それが正当化できるとした場合に一体どこまでの取り組みが妥当と判断されるのかといった問題提起がなされました。▼そのほかさまざまな研究報告がなされ大変参考になりました。



ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに初春をお迎えのことと存じます。昨年は、大垣市制100周年また明治150年という記念すべき年でしたが、いよいよ5月には新元号を迎えることとなります。まさに「昭和は遠くなり、令和は近くなり」といった感じがします。私は、次世代へ引き継ぐ「責任世代」の自覚を持って、「時代の変化を捉え、力強く未来を切り拓く大垣市政」を考え、提言し、実現していきたいと思っております。皆さまのご理解とご声援を心からお願い申し上げます。

ホームページ更新中です！

▼ホームページをつくりました。ブログ、フェイスブックを随時更新中です！ぜひ、ご覧ください。



Profile 種田昌克(おいだまさかつ)

- 1969 大垣市生まれ(安井小、東中卒業)
- 1988 県立大垣北高校卒業
- 1994 早稲田大学卒業 文学・美術を学ぶ。
- 1994 大垣市役所(文化部、総務部、生活環境部、建設部他) 市役所在職中に名城大学・三重大学に通い法律と防災を学ぶ。
- 2017 参議院議員大野泰正秘書 明治大学公共政策大学院に在学

！事務所 移転しました (駐車場あり)



おいだ昌克 後援会事務所
〒503-0862 大垣市二葉町8-18
TEL・FAX 0584-77-2288
e-mail: info@oida-masakatsu.jp

新風! No.2

編集発行: おいだ昌克後援会
発行日: 2019年1月1日



おいだ昌克
まさかつ

Challenge New Ogaki 100年へ向けて

2018.11.18

ニューヨーク市における都市計画と再開発戦略！

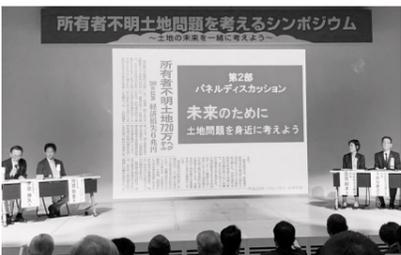
▼ウインストン・フォン・エンゲル氏(ニューヨーク市都市計画局ブルックリン事務所長)による「City planning NYC and NYC development strategies」を聴講しました。▼ニューヨーク市におけるダウンズォーニング(日本でいう用途地域)についての話でした。アメリカでは、1961年に「ゾーニング法」という法律ができ、市がゾーニングの権限を持っています。日本のように市町村がゾーニングの変更について県や国と協議したりするようなことはなく、すべてニューヨーク市が単独で決定できるとのことです。▼また、ゾーニングの変更手続きについては、コミュニティ委員会(日本でいうところの自治会組織)を通して行うとのこと。委員会の存在はニューヨークの都市計画において欠かせない存在になっているとのことでした。



2018.11.26

「所有者不明土地問題シンポジウム」(岐阜市)に参加しました！

▼土地の所有権不明問題は、人口減や高齢化による土地需要の低下などを背景に全国で深刻化しています。▼いわゆる「所有者の所在の把握が難しい土地」とは、「不動産登記簿の所有者台帳により、所有者が直ちに判明しない、または所有者に連絡がつかない土地」をいいます。所有者不明土地問題深刻化の背景には、「土地と人」の関係の広域化、複雑化、希薄化などの問題があると感じます。



2018.11.30

ミニ集会「テーマ:大垣市の防災」を開催しました！

▼ご参加いただいたみなさんから活発なご意見をいただくことができました。今後はいただきましたご意見等も踏まえながら、政策立案に活かしていけたらと考えております。なお、第2回のテーマと日時は未定ですが、みなさんご参加をお待ちしております！



災害写真展の様子▶



2018.12.2

親子で人形劇・手品を楽しむ会(サイトピアセンター)「ピノキオのぼうけん」に出演しました！

▼私は「おまわりさん役」「サーカスの団長役」「くじら役」などを演じさせていただきました。とても貴重な経験でした！



2018.12.5

笠松刑務所を見学しました！

▼笠松刑務所は、日本に5か所ある女子刑務所のひとつで、「公共サービス改革法(公サ法)」による刑事施設の運営を行い、民間事業者のノウハウを活用しています。国は、「再犯防止推進法」で元受刑者らが雇用されやすい環境の整備や、地域における再犯防止対策の支援、元受刑者らを受け入れる「協力事業主」や保護司ら民間の協力者の確保などの取り組みを盛り込んだ計画を定めています。▼犯罪がないまちづくりが第一ですが、支援策や協力体制が求められています。



2018.12.5

高橋靖水戸市長と意見交換しました！

▼水戸市は人口27万人の茨城県の県庁所在地です。11月には、市役所新庁舎が完成、また高橋市長は『実践 市民とつくる公共政策』(ぎょうせい)を出版されました。水戸市では、これから周辺の町村とどのように連携し、持続可能な行財政を運営していくかが課題となっており、実に大垣市と共通する部分があると感じました。また、水戸市における「子育て支援」、「高齢化の現状と課題」、「都市計画」についてご教授いただきました。ありがとうございました。



2018.12.10

藤井輝明先生と意見交換しました！

▼人権週間にもない安井小学校で二日間にわたり、藤井輝明先生(医学博士)の講演会が開催されました。二歳で「海綿状血管腫」という病気を発症され、さまざまないじめにあいながら、それでも母子で明るく、強く、たくましく成長されたお話に感動しました。外見で人を判断するのではなく、誰に対しても思いやりの心を持って接することの大切さを再認識しました。



※藤井先生に直接お話しを伺うことができました。気さくなご対応ありがとうございました。

編集後記

▼毎週、夜行バスで大学院に通い、地方自治や公共政策について学んでいます。名古屋から東京の約5時間のバスの旅。でも、いつもお尻が痛くなって困っています。何か良い対策はないのでしょうか。(種)